

人口減少対策に全力



任期満了に伴い4月16日に告示された豊岡市長選挙は、現職以外に立候補者がなく、中貝宗治氏(62)が無投票で4選を決めました。

初登庁となった5月1日には、いつもどおりの徒歩で豊岡稽古堂前に到着。出迎えた職員から拍手を受け、花束を贈られました。その後、本庁舎大会議室で、幹部職員らに「歩いて暮らすまちづくりを推進している。市の姿勢を示す意味でも率先して歩くように」などと訓示しました。

今後4年間で目指すまちづくりをお知らせします。

『対話と共感』のまちづくり

新しい豊岡市政がスタートしました。市政の運営に当たっては「対話と共感」を基本に据えて進めてまいります。

価値観の違いや物の捉え方の違いによって意見が異なることがあります。それでも、意見の違う者同士が集まって答えを出さなければいけないときに、腕力でねじ伏せるのではなく、あるいは、お金の力でねじ伏せるのでもなく、対話でもってお互いが納得しながら、みんなの共同作業で結論を出していく。その姿勢を貫くことで当事者が共感を共有し、その共感をエネルギーに変えて、まちづくりを進めていきたいと考えています。市民の皆様への負託に応えら

れるよう、誠心誠意を尽くしてまいります。

12年の総括

合併して12年、災害、経済衰退、財政悪化、コミュニティ崩壊の四つの危機に対処し、備えを強化する取組みを進め、成果は着実に出てきました。

市役所の組織に戦略性を持たせる試みや、市民との協働の試みも一定の成果を上げてきました。

しかし、人口減少が私たちの暮らしを脅かす最大の要因として立ち現れています。以前からあったこの問題が、明確に私たちの「最大の課題」として意識されるようになってきました。

地方創生Ⅱ人口減少対策について「小さな世界都市―口



ーカル&グローバル・シティ」の実現を旗印に、取り組む方向性を打ち出してきました。しかし、その取組みは緒に就いたばかりです。その圧倒的に不利な闘いに市民の皆様と共に全力で挑んでまいります。

『小さな世界都市―ローカル&グローバル・シティ』の実現

豊岡における人口減少の最大の要因は、若年層の転出超過と未婚率の上昇にあることはこれまでも申しあげてきました。そしてそのうちの転出超過の要因は、多くの若者た

なかがいむねはる
よこがお **中貝宗治**(下宮)

昭和53年 3月 京都大学法学部 卒業
昭和53年 4月 兵庫県庁 入庁
昭和60年 4月 大阪大学大学院
経済学研究科 派遣
昭和62年 3月 同科
経営学専攻前期課程修了
平成2年12月 兵庫県庁 退職
平成3年 4月 兵庫県議会議員 当選
平成13年 6月 兵庫県議会議員 辞職
平成13年 7月 旧豊岡市長 就任
平成17年 3月 合併による新市設置のため
旧豊岡市長 退任
平成17年 5月 1日より現職
※現在4期目、任期満了日は平成33年
4月30日

ちが抱いている地方のイメージにあると申しあげてきました。大企業がないことなどの大都市との経済格差に加えて、優れた芸術文化に触れる機会やおしゃれな店や通りもない「地方は貧しくてつまらない」という強烈なイメージが、若者たちの地方への足を止めているというのが、市の地方創生戦略における基本認識です。豊岡出身の若者たちの多くは、豊岡以外の地方も選んでいます。

そこで否定されているのは、単に地方における所得の低さではありません。彼らの多くが進路を決める際に否定しているのは「地方で暮らすことの価値」そのものだと考えなければなりません。だとすると、戦略的に豊岡の私たちがやるべきことは「豊岡で暮らすことの価値」の創造です。もともと豊岡にはそれがある、という私たちの信念から言えば、価値の再発見と再創造と言っていいかもしれません。

問題の多くは、地方と大都市との関係から生じているのであり、地方創生は本質的に、地方対地方の競争ではありません。日本のそれぞれの地方がそれぞれのやり方でそれぞれのまちに暮らす価値の再発見と再創造を行うことによつて、その総和として「地方に暮らすことの価値」が確固として根付き、日本の地方創生が成し遂げられるのだと思います。

世界に通用するローカルを磨く

グローバル化の進展で、世界は急速に同じ顔になりつつあります。同じ商品、同じ店、同じ景観が広がり、文化的につまらない世界が広がっています。このような中で、逆によりローカルであることが世界で輝くチャンスにつながります。

グローバル化の進展で、世界は急速に小さくなりつつあります。人々は自由に行き来するようになりました。インターネットの発達によって、豊岡のような小さなまちでも、世界の人々と直接に結ばれることができるようになりました。



▲インバウンド促進



▲城崎国際アートセンター



▲ニューヨークのレストランへの納品が決まった「コウノトリ育むお米(無農薬)」